

## 【ひょうご環境体験館】のサウンディング調査実施結果

## 1 参加事業者数 2者

## 2 サウンディング調査結果の概要

サウンディング調査において、参加事業者からいただいたご意見等の概要は以下のとおりです。

施設の魅力・可能性について
① アクセスを良くすれば、外観含め、十分関心を引く施設だと思う。
② 環境について総合的に、かつ体験しながら学べる点が、他には無い特徴。民間の工夫や知恵が活かせる。
③ ホームページが分かりづらく、せっかく興味深い設備や体験プログラムがあるのに伝わらない。周知方法を再考したほうがいい。県外の広報による集客も考えられる。
④ 周辺施設と連携し広報協力等は可能と考える。
自主事業について
① VRによる自然体験など話題性になる事業は考えられる。
② 近隣（宿泊施設、牧場、科学技術施設、大学等）との連携により、日帰りではなく、この地域に滞在してもらう仕掛けづくりができればいい。横の連携は民間の得意とするところ。
③ 体験プログラムの実施等に知見・ノウハウを有する企業との連携により、様々な工夫の余地がある。
④ 現在行っている多様なプログラムを引き続き実施するためには、スタッフの継続雇用と体験プログラムのサポーターの協力が前提となる。
⑤ 収益の出る自主事業の実施は難しい。
公募スケジュールについて
① 令和7年度は公募対象施設が多い年にあたる。早めに公募情報を公表してもらえると有難い。
② 体験プログラムの多彩さやボランティアスタッフとの調整を考えると、円滑な移行のためにも、引継期間は長めに取ってもらいたい。最低で3ヶ月、できれば6ヶ月あることがのぞましい。
応募条件等について
① 老朽化に伴う修繕や蛍光灯販売停止に伴うLED化改修の費用が、指定管理者負担になるのは厳しい。
② 募集要項において、指定管理者の責任とされる施設修繕に上限額は設定されるのか。上限額が明記されている施設もあるので募集要項作成の際は検討いただきたい。
③ 現在の指定管理料での管理・運営は厳しいと感じる。また、人件費、光熱水費の高騰も指定管理料に加味していただきたい。

担当者：環境部環境政策課 永井

T E L : 078-362-3156

メール：kankyouseisakuka@pref.hyogo.lg.jp